

アウトプット型 学習サポートアプリ 「TE-chat」

あなたの「教える力」を、
生徒の「わかる力」へ





社名 株式会社OscilloVision

設立 2025年07月

代表取締役 中田雅人

社員 7名

所在地 東京都江東区豊洲3丁目7番5号 芝浦工業大学 本部棟 10 階

事業内容 VRアプリケーション・AIアプリケーション開発

物理や化学の授業で、このようなお悩みはありませんか？

生徒が受け身で、
発言が少ない

複雑な概念ほど、
生徒の思考が止まってしまうが
ち

AI活用が課題の本質
を損なう可能性

ChatGPTを用いたレポート生成など、
AIの活用が学習に置ける課題の
本質を喪失させてしまうかもしれない

理解度や思考過程
が把握しづらい

思考のプロセスが見えにくく、授業中は
理解したように見えても、いざ自分の言
葉で説明させるとできない

テストの点数だけでは、生徒が「なぜ間
違ったのか」「どこで躓いているのか」を
把握するのが難しい

TE-chatとは？

AIを用いた学習支援ツール

メインの特徴

生徒がAIに対して
学んだことを説明する

間違えても恥ずかしくないから、

思い切りアウトプット できる



円運動とは何ですか？

物体が中心からの距離
を変えずに、円を描く
運動です。

どんな例がありますか？

例えば振り子や惑星
の周回などがあります



使い方(生徒編)



【波の性質】媒質
波を伝える物質のことを何と呼ぶの？

キャラクター



状態: Idle

スコア分析

理解度 70%	残ターン --	合計点 75
------------	------------	-----------



リセット - 【波の性質】媒質
波を伝える物質のことを何と呼ぶの？

教えてくれてありがとう！媒質の意味をもう少し詳しく教えてもらえる？

媒質っていうのは波を伝えたりする物質のことだよ

ありがとう！媒質の具体例って何かあるの？

水が有名な？空気も立派な媒質でそれがないと音なども一切わからないんだ

ありがとう！水や空気が媒質なんだね。媒質の見分け方って何かあるの？

見分け方っていうと難しいけど、基本的に振動を伝えられる一定の密度と柔軟性があればなりうるよ

ありがとう！振動を伝える物質のことを媒質って言うんだね。密度と柔軟性がポイントなんだ？

そうだよ 終了

【採点】75 点（正確さ:4 / 構造化:3 / 応用力:3 / 例示力:2 / わかりやすさ:4）
媒質の定義は良く伝わっていますが、具体例や見分け方についてもう少し詳しく書き添えるとさらに伝わりやすいです。また、振動を伝える条件についても具体的な例を挙げると良いかもしれません。全体的に分かりやすく、媒質の重要性をしっかりと伝えられている点が素晴らしいです。この調子で上げていきましょう！

学習おつかれさま！ホームに戻りますか？

ホームに戻る

音声 メッセージを入力... 送信

Lineのようなチャット形式で、

考えを言語化していく 対話システム

使い方(生徒編)

戻る

ユーザー: guest@osclass.net

実験タイトル: 角振動数と振動数 ($\omega = 2\pi f$)

Step1 Step2 Step3 結果

Step2 (fを変えると ω はどう変化する? 今の操作の結果を使って説明してね)

下のボタン0.5/1/2Hzや入力でfを動かそう

観察結果を画面に説明しよう

fを変えたとき ω がどう変わるかを数値で説明できる ($\omega = 2\pi f$)

シミュレーション



角振動数 rad/s
12.6 rad/s

公式と操作

公式: $\omega = 2\pi \times f$

$\omega = 2\pi \times f = 2$ [Hz] → 12.57 rad/s

0.5 1 2

Step2 | 1.00 ~ 2.00 Hz / 角振動数 12.6 ~ 12.6

観察を一時停止

タイの質問

タイの進捗率 40

fを変えると ω はどう変化する? 今の操作の結果を使って説明してね。
答えたら次のステップへ進みます

Q: f
A: セッション開始, ω を見よう。

Q: f
A: 波の表示, 面白そうだね! どんな数値を予想なの?

A: ω は 1秒あたりの回転角(rad)で, fに 2π をかけたものだ。

Q: f
A: なるほど, ω と f の関係がわかったよ! ありがとう!

Q: f
A: 値変えると ω がどう変わるか, 具体的に教えてもらえる? その操作の結果も気になるな。

fを2倍にすると ω も2倍 (係数 2π は一定), fを3倍にすると ω は一定のままである。

fを上げると ω は少ししか増えない。

最終結果を保存

ここに説明を書いて Enter / 送信

送信

実際の使い方(教員編)

- 今まで把握が難しい思考力・判断力・表現力をこれだけで分析
- 生徒の回答内容、簡易採点が一目で確認可能
- 出題は3クリックで完結
- 成績の連携はcsv他
学校に応じてカスタマイズ可

The screenshot displays the 'TeChat Admin' interface for creating a question. The top navigation bar includes 'ホーム' (Home), '出題' (Question), and '回答' (Answer). The user 'masato.nakada@oscllovision.com' is logged in.

出題対象の選択 (Question Target Selection):

- フィルタをリセット (Reset filter)
- 詳細表示 (Show details)
- クラス (Class): 1: test_class
- 単元 (Unit): 剛体のつり合い (Statics)
- 小単元 (Sub-unit): 重心と物体の安定 (Stability of center of mass and objects)
- 学習内容 (Learning content): 重心の公式 (2物体) (Center of mass formula (2 objects))

出題内容 (Question Content):

- タイトル (Title): 【剛体のつり合い】重心の公式 (2物体)
- 説明 (Description): 「剛体のつり合い」のうち「重心と物体の安定」を扱い、学習内容「重心の公式 (2物体)」に取り組みます。公式の意味・記号・使いどころを確認します。
- 締切 (Deadline): 2025/09/02 16:40
- 質問内容 (Question content): 2つの物体の重心の位置は計算できる？
- プレビュー (Preview): 2つの物体の重心の位置は計算できる？
- 模範解答 (Model answer): 質量 m_1, m_2 の座標が x_1, x_2 のとき、重心 x_G は $x_G = \frac{m_1 x_1 + m_2 x_2}{m_1 + m_2}$ です。
- プレビュー (Preview): 質量 m_1, m_2 の座標が x_1, x_2 のとき、重心 x_G は $x_G = \frac{m_1 x_1 + m_2 x_2}{m_1 + m_2}$ です。

Buttons at the bottom: 詳細設定 (進捗は不要) (Detailed settings (progress is not required)), この内容で出題 (Publish this content).

我々が提供解決できること

生徒が受け身で、発言が少ない

AIが質問役、**生徒
のアウトプット**を引き出す

効果

授業内で1回以上発言した生徒
割合 $\geq 80\%$ / 授業
再挑戦率(初回後に再提出)
 $\geq 30\%$ / 週

AI活用が課題の本質を損なう可能性

AI時代に求められる
“説明力”を育てつつ
課題の本質＝
内容理解を守る

記述式小テストの正答率
+15%
メタ認知(振り返り尺度1-5)
平均+0.5/5点

理解度や思考過程が把握しづらい

対話ログと
単元マップで理解
度を可視化

コメントペーパー/記述評価の採
点時間 -30分/週
クラス内理解度ばらつき
-20%/単元

安全性について

Q1. 個人情報 は渡しますか？

A. 必要ありません。従って漏洩のリスクもありません。

こちらで用意する「匿名ID」を人数分お渡しします。学校の中だけで「匿名ID↔生徒名」を結びつけて保管し、外部には出しません。

Q2. こちら(外部)に送られるのは何のデータですか？

A. 匿名IDにひもづく学習記録だけです。

氏名・学籍番号・メール・顔写真などは一切送信されません。学校側では生徒名付きの帳票を出せますが、外部に送る時点で自動的に匿名IDのみになります。

Q3. 情報管理は安全ですか？

A. 文部科学省のガイドラインに沿って運用します。

必要最小限の収集」「権限のある人だけが見られる設定」「通信の暗号化」「操作ログの記録」「保存期間と削除ルール」を徹底。削除依頼があれば匿名ID単位で確実に削除します。

Q4. AIが誤ったことを教える心配は？

A. ありません。AIは“質問だけ”をします。

授業で使う内容は先生が事前に確認した教材のみ。AIはその内容に沿って質問を投げるだけで、新しい知識を勝手に教えません。不適切な質問が出た場合はすぐ停止・修正できます。

導入にむけて

オンライン相談＆デモ(無償・30分)



要件整理・見積／契約(クラス数・生徒数・期間を確定)



環境準備(1-2週間): 匿名ID発行／学校内での対応表作成



教員研修(90分): 運用・KPI・安全運用



試行運用(2-4週)→振り返り



本導入・運用サポート(平日サポート・月次レポート・学期レビュー)

価格のご案内(お問い合わせ制)

学校ごとにクラス数や端末・運用範囲が大きく異なるため、
ムリのない費用で始められるよう個別見積りとしています。

料金の考え方: 「生徒またはクラスのいずれか有利」+ 月額上限あり

含まれるもの: サーバー運用・匿名 ID管理・月次レポート・平日サポート

まずは小さく: 1クラスからの試行プランあり

→ 30秒で相談予約／概算見積り請求

▼なぜAIは教えず、聞いただけなのか？ ▼

AIは“生徒役”。答えを教えるのではなく、生徒のアウトプットを助ける新たな役割で **「引き出す教育」** を支える、**先生のためのパートナー** です。